

平成27年5月17日(日) 神社史研究会第2回調査見学会開催!!

## 『倭姫命御巡幸にちなむ神社を巡る 2』

調査地:御船神社～久具都比賣神社～松下社～江神社～堅田神社～神前神社  
～矢田宮旧跡～家田田上宮旧跡(調査順)

参加者:白山芳太郎先生、落合直人、曾我悦子、村田希、風間章一、伊藤りか、喜多野瞭

当初、二見町方面から内宮への行程を計画していましたが、御船神社の周辺も確認することになり、西へ東への調査会となりました。

### 9:30

車2台に分乗し近鉄五十鈴川駅前を出発。まずは一気に御船神社へ向かいます。まだ柿の葉も青い藤里の集落を抜け、前山道を宮川に出ます。南島線沿いの花畑に癒されながら、サニーロードで玉城町へ。辺り一面のどかな田園風景が広がります!遠くにいくつか鎮守の森も見えます。天気も良いので、走っていて気持ちがいいですね!JR参宮線沿いから土羽の集落に入ります。

### 10:00

皇大神宮摂社御船神社に到着。朝熊山から連なる度会の山々を一望できます。正面右側に紀州藩により建てられた享保甲辰(享保9年、1724)の「禁殺生」の石柱、左側に立派な石燈籠があります。石段を登ると、若連中奉納の手水鉢があります。各々参拝。御祭神は大神御蔭川神です。『儀式帳』には大歳御祖命も記され「正殿二字」とありますが、現在は一字。同じく摂社の牟弥乃神社(御祭神は寒川比古命・寒川比女命)も御同座。

倭姫命御一行はここで船を降りられ、国東山を女鬼峠越えで相鹿瀬に出て、瀧原方面に向かいました。我々はもと来た道に戻り、大日山を度会町棚橋に抜けて、久具都比賣橋で宮川を渡ります。

### 11:30

皇大神宮摂社久具都比賣神社に到着。ここにも「禁殺生」がありました。御祭神は久具都比女命・久具都比古命・御前神。『儀式帳』には「正殿三字」とありますが、先程の御船神社同様、寛文の再興の際に一字となりました。神社の裏手はすぐ宮川の河原です。「マムシ注意」!!『度会町史』によると、近くに「大神宮さんの鬢付け水」があるらしいのですが、わかりませんでした。というか、お腹がペコペコですっかり失念しておりました。さて、お昼はどうしましょう?

### 12:40

民話の駅「蘇民」に到着。松下社に参拝。御祭神は素盞鳴尊・菅原道真・不詳一座。入口に蘇民祠、奥には山の神もお祀りされています。二見を訪れた倭姫命御一行が船を泊めら

れたことから、御船社ともよばれています。松下地区の氏神さんですが、贅海神事など神宮とも関係深いお社です。県の天然記念物の大クスは、樹齢1800年！

昼食は向かいの喫茶「PINE」でいただきました！揚げたての唐揚げが美味しかった！それでは後半、二見町のお社調査が始まります。江神社に向かう野道の近くを参宮線が走ります。いいタイミングで、鳥羽行き「快速みえ」が！一部鉄道ファンが大喜び！

#### 14:15

皇大神宮摂社江神社を参拝。長口女命・大歳御祖命・宇加乃御玉命。境内の木々の間から「江のトンネル」の出口が見えます。

#### 14:40

皇大神宮摂社堅田神社を参拝。御祭神は佐見都日女命。『儀式帳』の所撰二十四座の一つですが、『延喜式』には記載が無いので式内社ではありません。いよいよ難関と評判の神前神社に向かいます。

#### 15:05

許母利山の石段を登ること10分。皇大神宮摂社神前神社に到着。風間さん、走って登っていましたが確実に筋肉痛だと思います。山頂は木が生い茂っており、「清き渚」を一望…とは残念ながらいきませんでした。頭上に広がる青空に気持ちも晴れ晴れ！落合さんのカウントによると265段だそうです！御祭神は荒前比賣命。末社の許母利神社（御祭神は粟嶋神御魂）・荒前神社（荒前比賣命）も御同座。

次は矢田宮伝承地を探して楠部町へ。神宮神田を目指します。

#### 15:40

神宮神田の東側の道を奥に進み、近鉄のガードを潜りさらに進むと、沢合いに何枚かの田んぼがあります。矢田宮伝承地に到着。…といってもそれを示すものは何もありません。今日一日、神社を巡り歩いてきただけに、なんとも物足りないのですが、こればかりは仕方がないですね。旧跡地は不明ながら、「矢田」という地名は残っています。この田んぼに注いでいる心地よい清流も、矢田川となって五十鈴川に合流します。

と、その時、田んぼの向こうに何かある！小屋？物置？箱？カメラの望遠で確認すると、なんと!!祠のようです!!神前神社の石段も、のどが渴いていたのも何処へやら。一気に歓声が上がります！近づいてみると、山にへばり付くように祠がありました。土地の所有者さんによってお祀りされているのでしょうか。矢田宮に由来するののかも確認する術が無いので、詳細は後ほどになりますが、とりあえずここが矢田宮か？ということで一同大満足。もしかすると、櫛樟尾神社に合祀された小さなお社かもしれません。

#### 16:15

今回の「甘いもの」は二見が浦の御福餅本店に決定！「速ふたたび見たまふ国」だけに、再び二見町に戻ります。さっぱりしたあんこは甘すぎず、なかなか好評でした。みんな2個なのに、1人だけ3個食べた人がいましたよ。御福餅の大ファンという横綱日馬富士の

色紙がありました。一部大相撲ファン大喜び!!また、夫婦岩から望む富士山の写真もありました。

#### **16:50**

再び楠部町に戻り、家田田上宮の伝承地へ。楠部町尾崎の西の森手前に車を停めます。この西の森も田上宮伝承地の一つ。今回はもう一つの伝承地、櫛樟尾神社旧跡を確認します。集落の高台に祠がお祀りされ、立派な石碑が建てられています。ベンチもあるので、憩いの場となっているのでしょう。櫛樟尾神社は、周辺の氏神社とともに合祀され、四郷神社として五十鈴川の川岸に移転しています。

#### **17:00**

五十鈴橋のもと、車中より現在の四郷神社の一を確認して、近鉄五十鈴川駅へ戻り、解散となりました。